

## Ⅱ 事業

## 1 子どもと子どもの読書活動を支援する人へのサービス

子どもたちが読書の楽しさや喜びを知り、読書する力を身につけるため、子どもの発達段階に応じた資料を選定・収集し提供しています。また、おはなし会をはじめとするイベント事業や各種推薦図書リストの発行、図書展示のほか、小・中学校や学校図書館との連携、子どもの読書活動を支援する大人へのサービス等を継続して行っています。25年度からは、生後3、4か月の乳幼児を対象としたブックスタート事業に続く、小学校1年生を対象としたセカンドブック事業を実施しています。

### <おはなし会>

子ども向けのおはなし会事業は、開館当初から実施しており、子どもと本の出会いをつくる機会として今日まで継続しています。市内のおはなしグループの協力を得ながら、平成9年10月には乳幼児の親子を対象としたおはなし会も開始し、12年度にはさらに対象年齢を分けて回数を増やしました。近年では七夕やクリスマスなど季節のおはなし会や土曜日開催のおはなし会など、さまざまな機会をつくっています。

		子どもおはなし会	親子で楽しむおはなし会		土曜日おはなし会
開催日		毎週水曜日	第2・4木曜日		不定期
対象		4歳から小学生	0・1歳児と保護者	2・3歳児と保護者	乳幼児と保護者
実施回数		48回	23回	23回	1回(※)
参加人数	子ども	399人	436人	285人	21人
	保護者	211人	416人	243人	18人
	1回平均	8人(子ども)	18組	10組	21人(子ども)

※ただし、土曜日に開催した特別おはなし会は除く(イベント・講座に記載)



## <イベント・講座>

こどもの読書週間や夏休み等に合わせてイベントを実施し、図書館や本に親しむ機会をつくっています。

事業名	日程	内容	参加人数
科学あそび	8月7日	「空気と水でマジック ～コップと浮沈子の科学あそび」(全2回) 講師:塚原 博氏(科学読物研究会会員)	27人
子ども図書館員	7月28日～31日	子ども一日図書館員 貸出・返却業務や図書装備を体験	7人
特別おはなし会	7月15日	「夏のこわ～いおはなし会」 語り:狛江おはなしの会くーすけ、佐藤涼子氏	61人
	1月23日	「おはなしおばさんの玉手箱」 講師:藤田 浩子氏(語り手、幼児教育者)	87人
児童行事 実技講座	1月23日	「かたれやまんば 藤田浩子の語りを聴く会」 講師:藤田 浩子氏(語り手、幼児教育者)	30人

### 子ども読書の日(4月23日)

毎年この日に合わせ、推薦児童図書リストを発行し対象図書の展示をしています。また、4月23日から5月12日までを「こどもの読書週間」としてさまざまな企画事業も実施しています。27年度は「ぼく・わたしのすきな図書館で会える絵本」を実施しました。

### 科学あそび(夏季)

夏休み中の小学生を対象として、ゲストティーチャーによる簡易な科学実験や科学工作を楽しむ教室を開催しています。テーマに合わせた知識絵本や科学読み物も紹介しています。



### 子ども図書館員(夏季)

小学校4～6年生を対象に、図書館の仕事を体験するイベントを実施しています。

### 特別おはなし会

おはなしおばさんとして全国でおなじみの藤田浩子さんをお招きして、楽しいおはなしの小道具を使ったあそびの会や福島弁で語る昔話を聴く会を開催しています。

### 児童行事実技講座(秋冬季)

こどもの読書活動を支援する大人のための講座を実施しています。

◆科学あそび教室 「空気と水でマジック ～コップと浮沈子の科学あそび」

〔開催日時〕 平成 27.年8月7日(金)

①午前 10 時～正午 ②午後2時～4時

〔開催場所〕 中央公民館 美術工芸室

〔参加者〕 ①小学校1・2年生 18人 ②小学校3～6年生 9人

〔講師〕 塚原 博さん(科学読物研究会会員、実践女子大学教授)



コップを水槽に沈めてそれを逆さにしたまま引き上げると…、さて中身はどうなるかな？  
「仮説を立て、実験し、考察する」ことを楽しみながら学びました。コップを使った水と空気の圧力の実験やストローを使った浮沈子あそびなど、暑い夏にぴったりのプログラムでした。

◆特別おはなし会 「おはなしおばさんの玉手箱」

〔開催日時〕 平成 28 年1月 23 日(土) 午前 11 時～正午

〔開催場所〕 中央公民館 視聴覚室

〔参加者〕 幼児と保護者 87人

〔語り手〕 藤田 浩子さん(語り手、幼児教育者)

「たかい山ひくい山」「カウボーイのうた」など親子で体を動かす遊びや「ゴリラジャグリング」「5匹のこざる」「1匹たりない」他、小道具を使った楽しいおはなしが盛りだくさんの60分でした。いっぱい笑って遊んで寒さもなんのその。おしまいには、藤田さんから参加者のみんなに紙トンボのおみやげも配られました。



## <図書展示>

季節の行事や子どもたちの身近な事柄をテーマに、関連する絵本や図書を集めたり、それにちなんだ装飾を行ったりして、いろいろな本との出会いのきっかけをつくる企画展示をしています。

期間	テーマ	設置場所
4/1～4/13	春のえほん 入学・入園おめでとう！	児童コーナー展示架
4/15～5/25	ぼく・わたしのすきな図書館で会える絵本	児童コーナー展示架
4/16～4/30	手づくり布の絵本	1階ロビーショーケース
5/27～6/21	このほんしってる？2015 図書館がすすめる本	児童コーナー展示架
7/8～7/15	こわ～い絵本	児童コーナー展示架
7/16～8/31	夏休み課題用参考図書	児童コーナー特設
8/5～8/24	戦争と平和を考える子どもの本	児童コーナー展示架
8/6～8/31	夏休みに読みたい本	児童コーナーミニ展示
8/26～9/14	のはらうた 工藤直子さんの本	児童コーナー展示架
9/16～10/12	地図が出てくる本	児童コーナー展示架
10/14～10/31	ハロウインの本	児童コーナー展示架
11/1～11/9	どんぐりころころ おちばひらひら	児童コーナー展示架
11/11～12/25	クリスマスの絵本	児童コーナー展示架
12/26～1/25	お正月・さるの本	児童コーナー展示架
1/27～2/8	節分・鬼の絵本	児童コーナー展示架
2/10～2/22	日記のおはなし	児童コーナー展示架
2/24～3/3	ひなまつりの本	児童コーナー展示架
3/4～3/31	春色えほん	児童コーナー展示架



### <推薦児童図書リストの発行>

図書館がすすめる本を手にとってもらえるように、紹介冊子やリーフレットを作成し、対象資料の特集コーナーを設置しています。また、発行物は市内図書室や学校図書館等へも配布しています。27年度は前年に発行した「読書のみちしるべ」に掲載の推薦図書コーナーを設置し、好評いただいています。

タイトル	発行日	内容
このほんしってる？2015 (幼児から小学生まで)	年1回 4月23日発行	前年に刊行された児童図書や絵本の中から選定して紹介。
Books for you 2015 (中学生以上)	年1回 4月23日発行	前年に刊行された児童図書の中から選定して紹介。
読書のみちしるべ (小学生にすすめる本)	平成27年3月 発行	読み継がれた基本図書を中心に学年別に選定して紹介。(24年の改訂版)
図書館で会える絵本 (3～6歳に読んでほしい絵本)	平成22年3月 発行	読み継がれた優良絵本を中心に選定して紹介。
赤ちゃんに贈るファーストブック (0・1・2歳児に読んであげたい絵本)	平成22年1月 発行	3・4ヶ月健診で実施のブックスタート時に配布。



### <絵本の貸出ベストリーダー10>

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

順位	タイトル	作者	出版社
1	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま けん/[え]	こぐま社
2	ぐりとぐら	なかがわ りえこ/作	福音館書店
3	バムとケロのおかいもの	島田 ゆか/作・絵	文溪堂
4	おばけのてんぷら	せな けいこ/作・絵	ポプラ社
5	すてきな三にんぐみ	トミー＝アンゲラー/さく	偕成社
6	としょかんライオン	ミシェル・ヌードセン/さく	岩崎書店
7	バムとケロのもりのこや	島田 ゆか/作・絵	文溪堂
8	くつついた	三浦 太郎/作・絵	こぐま社
9	はらぺこあおむし	エリック＝カール/さく	偕成社
10	ぐりとぐらの1ねんかん	なかがわ りえこ/作	福音館書店



### <学校図書館への協力貸出>

市内小・中学校の各学校図書館を窓口として協力貸出を行っています。毎週1回FAX受付による貸出依頼のほか、インターネット予約や来館取り置き分を含めた資料の配送も行います。配送は週2回、月曜と木曜に学校専用便を運行し、学校間同士の相互貸借にも利用できます。27年度は82回実施しました。

小学校名	狛江第一小	狛江第三小	狛江第五小	狛江第六小	和泉小	緑野小	小学校計
貸出冊数(冊)	1071	740	1068	2256	1027	273	6435
(内学級文庫)	(0)	(0)	(300)	(0)	(300)	(0)	(600)

中学校名	狛江第一中	狛江第二中	狛江第三中	狛江第四中	中学校計	全校計
貸出冊数(冊)	365	1045	812	200	2422	8857

### <職場訪問・職場体験>

小学校の地域探検や公共施設見学、中学生・高校生が学校を離れて地域の商店や民間企業、公的事業所等の職場で、実際に仕事を体験する事業の受け入れを行っています。図書館では、職場体験の「働くことの意義や仕事の大切さを感じ取る」等の目的が達成できるように支援するとともに、生涯を通じての読書習慣や図書館利用の促進につながるよう様々な内容でプログラムを組んでいます。近年、高校生の訪問が増えています。

学校名	学年	人数	実施日	日数	内容
狛江第一小学校	2年生	104人	9月2日	1日	施設案内、利用指導
狛江第一中学校	1年生	4人	1月22日	1日	施設案内、インタビュー
狛江第二中学校	1年生	4人	2月8日～10日	3日	窓口業務、図書装備等
狛江第四中学校	1年生	5人	12月10日	1日	施設案内、インタビュー
都立西高等学校	1年生	1人	7月28日～29日	2日	図書装備等(奉仕体験)
大東学園高等学校	1年生	4人	11月13日	1日	窓口業務、図書装備等
獨協高等学校	1年生	1人	3月9日	1日	窓口業務、図書装備等



## <ヤングアダルトサービス>

主に中学生・高校生を中心とした世代をヤングアダルト(YA)と呼び、世代の特性を考えながら、図書館に親んでもらえるよう図書を選定して、小さいながらもコーナーを設置しています。YAコーナーでは、YA用の新着図書を展示しているほか、情報交換ノートやおすすめ本投稿BOXを置き、利用者同士交流を図ってもらうとともに、YA世代の多様な好みを拾い上げています。

### ◆おすすめ本紹介POP募集・展示

平成27年度は、昨年度に引き続き、おすすめ本紹介POPを募集・展示しました。今回は、YA(ヤングアダルト)部門(12~18歳)に加え成人部門(19歳以上)も募集。応募作品は、該当図書と合わせて展示するとともに、一部、図書館ホームページでも紹介しました。

#### [募集期間]

平成27年8月5日(水)~9月30日(水)

#### [作品・図書展示]

平成27年11月5日(木)~12月28日(月)

#### [展示場所]

一般展示コーナー・掲示板・図書館ホームページにて





## ＜ブックスタート事業＞

ブックスタートとは、赤ちゃんとその保護者が、絵本を介してゆっくり向き合い、心触れあうひとときを持つためのきっかけづくりをすることです。

図書館では、司書とブックスタート説明員が3・4か月児健康診査会場でブックスタート事業を実施しています。実際にその場で説明員が赤ちゃんに對面式で読みきかせを行い、絵本1冊と「絵本リスト」などを贈呈しています。

12月に、ブックスタートで配布している絵本リスト『赤ちゃんに贈るファーストブック』の改訂を行いました。主に、赤ちゃん向きの破れにくいボードブックの出版が増えたことに伴い、内容を変更しました。そして読み聞かせにおいて、次のステップの足がかりとなる「おはなしの世界へ」の項目の充実をはかりました。また2月からバックをNPOブックスタートが作成したものに変更しました。

### ブックスタート配布絵本タイトル

ブックスタート配布絵本タイトル(内訳)	冊数
『いないいないばあ』(童心社)	119冊
『じゃあじゃあびりびり』(借成社)	216冊
『くっついた』(こぐま社)	100冊
『がたんごとん』(福音館書店)	239冊
『くだもの』(福音館書店)	27冊

### ブックスタートパック



### ブックスタート配布絵本の推移

23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
577冊	607冊	639冊	677冊	701冊

## ＜セカンドブック事業＞

25年度から、小学校へ入学するすべての児童に本を贈る「セカンドブック事業」を実施しています。

この事業は、子どもが本に触れあい、読書の楽しさを知るきっかけをつくり、自発的な読書活動につなげることを目的としています。

司書がおすすめる12冊の本の中から一冊を選んでもらい、その一冊を贈呈しています。27年4月に入学された児童のうち603人に贈呈いたしました。

### セカンドブック対象本



## 【27年度新入学者贈呈内訳】

セカンドブック配布絵本タイトル	冊数	セカンドブック配布絵本タイトル	冊数
『ちからたろう』(ポプラ社)	13冊	『なぞなぞのすきな女の子』(学研)	109冊
『こねこのぴっち』(岩波書店)	61冊	『1ねん1くみ1ばんワル』(ポプラ社)	84冊
『ひとまねごさる』(岩波書店)	59冊	『番ねずみのヤカちゃん』(福音館書店)	78冊
『ろくべえまってるよ』(文研出版)	22冊	『ふたりはともだち』(文化出版局)	48冊
『すいかのたね』(福音館書店)	24冊	『ダンゴムシみつけたよ』(ポプラ社)	43冊
『わにのはいた』(大日本図書)	28冊	『ぼく、あぶらぜみ』(福音館書店)	34冊
合計			603冊

また、セカンドブック事業の実施について、図書館が贈呈会を開催し、子どもがその場で手に取って選んだ本を贈呈できるよう、12月にセカンドブック事業実施要綱を改正しました。これにより27年度は28年4月に入学する児童に対しても実施しました。

なお今回の改正によりセカンドブック贈呈は、3月の贈呈会から28年度6月末までに申し込みをされた方に対して行うことになりました。また、贈呈会に先行して、ゆっくり全ての本を読みたい方や当日贈呈会に参加できない方のために、2月1日から中央図書館及び市内図書室において、セカンドブック対象本の展示を行いました。

### 平成27年度セカンドブック事業贈呈会

〔開催日〕平成28年3月17日(木)～19日(土)

〔場 所〕市民センター 地下ホール

〔対象者〕28年度小学校第一学年相当の児童572名(28年1月1日時点)

贈呈会に合わせて、図書館司書による「対象本の紹介のじかん」を開催しました。

27年度は3月19日に2回行い、それぞれで、セカンドブック事業対象本の紹介や読み聞かせ、対象本のシリーズ関連本の紹介を行い、児童が自ら本を選ぶ際の一助になるよう努めました。

262名の方に贈呈することができました。



## 2 成人へのサービス

さまざまな成人利用者の情報要求に応えながら、資料を選定・提供しています。また、時事や季節に応じた図書展示や事業を行い、読書推進を図っています。

27年度はおすすめ本紹介POPの募集と展示を行いました。くわしくはヤングアダルトサービスのページをご覧ください。

### <図書展示>

期間	テーマ	設置場所
5/13～6/1	あたらしい憲法のほん ※狛江市複製冊子『あたらしい憲法のはなし』同時配布	一般展示コーナー
6/4～6/21	さあ、旅に出よう！	一般展示コーナー
6/20～8/3	地域力×女性力＝無限大の未来(男女共同参画週間)	一般展示コーナー
8/5～9/1	平和を求めて2015 ～この1年間の受入図書・語り継ぐ戦争	一般展示コーナー
10/31～11/30	本屋さん和図書館がすすめる「この一冊」	一般展示コーナー
11/5～12/28	発表！おすすめ本紹介POP&BOOK	一般展示コーナー 掲示板
1/27～2/29	ほんわか あったかくなるほん	一般展示コーナー
3/3～3/27	復興のかたち、支援のあり方 (利用支援サービス講演会・東日本大震災関連図書展示)	一般展示コーナー

### <発行物>

発行日	タイトル
1月20日	「こまえ図書館だより 第61号」
3月23日	「こまえ図書館だより 第62号」



### 3 利用支援サービス

中央図書館では、図書館への来館や読書に困難を感じる方を支援するサービスを行っています。26年度に施行した「利用支援サービス事業実施要綱」を基に、27年度は「利用支援サービスごあんない」を作成し利用支援サービス事業の周知に努めました。

録音資料の製作については、26年度のテキストDAISY講習会を受け、テキストDAISYや合成音声を使用して製作する音声DAISYの試作を行いました。現在本実施に向け環境整備を行っています。

そして高齢者施設へのサービスとしては、26年度に引き続き4施設に大活字本等の配達を行いました。利用者から多数好評の声をいただいております、今後も利用者の要望に応えられるように努めます。

また市民向け講演会では鎌倉幸子氏を講師に向かえ「走れ！移動図書館 本でよりそう復興支援」を開催しました。市内だけでなく市外からも多くの方に参加いただきました。

#### <市民向け講演会>

東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けた図書館や書店を目の当たりにし、「本を手にする機会を途切れさせない」「一人の、みんなの居場所を作りたい」という思いから「いわてを走る移動図書館プロジェクト」を立ち上げた鎌倉幸子氏を講師としてお招きし、震災から今までの5年についてお話いただきました。災害時の図書館の在り方や意義について考える講演となりました。

#### 《走れ！移動図書館 本でよりそう復興支援》

〔開催日時〕 平成 28 年3月 27 日(日) 午後3時 30 分～4時 30 分

〔開催場所〕 防災センター401・402・403

〔参加者〕 36 名



参加者の中には被災地を実際に訪れた人ならではのリアルな表現や写真から、忘れかけていた5年前を思い出し、涙を流す方もいらっしゃいました。移動図書館プロジェクトは「図書館利用が困難な人へのサービス」であり、「障がい者サービス」に通ずるものです。今回の講演は図書館の在り方について改めて考えるものとなりました。

### ＜高齢者施設へのサービス＞

27年度は写真が多く掲載されている本を数冊入れた構成でお届けしました。各施設では利用者をご自身で手に取ることができるスペースに本を並べ、入居者・通所者自身が本を選べる環境を作っています。今後ご要望のあった歴史ものや昔懐かしいもの等をセット構成に取り組んでいく予定です。

配達施設名	配達回数(日程)	回収回数(日程)	冊数	合計
狛江共生の家	5回 (4/23、7/14、9/15、11/17、1/26)	5回 (7/14、9/15、11/17、1/26、3/29)	150冊	720冊
こまえ苑	5回 (4/24、7/14、9/15、11/17、1/26)	5回 (7/14、9/15、11/17、1/26、3/29)	150冊	
グランダ狛江	5回 (4/24、7/14、9/15、11/17、1/26)	5回 (7/14、9/15、11/17、1/26、3/29)	150冊	
グランダ狛江参番館	5回 (4/24、7/14、9/15、11/17、1/26)	5回 (7/14、9/15、11/17、1/26、3/29)	270冊	

### ＜利用支援サービス事業実績＞

27年度の登録利用者、協力員の人数は26年度と変動はありませんでしたが、宅配の回数が大幅に増加しました。利用者のリクエストに応えるだけでなく、要望をお聞きした上で資料を提案するなど、定期的に宅配を行いました。

#### ◎ 27年度利用登録者数

登録サービス名	登録者
録音資料の貸出	12人
点訳資料の貸出	3人
視覚障害者用情報機器の貸出	10人
対面朗読	10人
宅配サービス	9人

#### ◎ 登録協力員数

音訳者	14人
対面朗読者	16人

#### ◎ 宅配サービス実績

	配達回数	タイトル数
録音資料	16回	51
点字資料	0回	0
その他	34回	74
合計	50回	125

#### ◎ 対面朗読実績

延べ回数	26回
時間数	52時間

※その他には、図書資料及び録音資料に属さないカセットテープ等を含む。



◎ 録音資料・点訳資料

26年度に引き続き、当館の資料と相互貸借の貸出件数が減っています。録音資料・点訳資料を借りる利用者の減少が要因のひとつと考えられます。当館利用促進のPRをするとともに、日本点字図書館などの施設を案内して、幅広いニーズに応えられるように環境を整えていく予定です。

① 蔵書数

(単位:タイトル数)

	作成		購入	
		うち 27 年度		うち 27 年度
カセットテープ等	223	0	0	0
DAISY	215	5	1	0
点字資料	4	2	43	0

② 貸出件数

(単位:タイトル数)

	カセットテープ等	DAISY	点字資料
個人への貸出	51(10)	7(7)	0
他市区等への貸出	1	2	0

※カッコ内は相互借受分

## 4 図書館活動を支える人たち

今日の図書館において、より細やかな図書館サービスを目指しそれを実践する上で、市民ボランティアの存在は必要不可欠です。図書館利用者の一人でもあるボランティアの方々が、日頃の活動を通じて、図書館をより理解していただけるような取り組みになることを願っています。

### <市民グループの活動>

中央図書館では、おはなし会事業や音訳・対面朗読など、それぞれの分野で活動する市民グループの方々と長きにわたって協働してきました。定期連絡会や講座・研修会などを通じて、各グループと図書館職員が交流しながら、図書館利用者へのサービス向上に努めています。28年3月には、これまでに製作していただいて所蔵している布の絵本や点字絵本を披露する「バリアフリー絵本展示会」を開催しました。

活動区分	活動グループ	活動開始時期	活動者数
音訳・対面朗読	狛江朗読ボランティアグループ	昭和 52 年	13 人
	音訳いれぶん	平成 23 年	10 人
おはなし会	狛江おはなしの会くーすけ	平成 10 年	14 人
資料製作	布の絵本製作ボランティアはなみずき	平成 16 年 3 月	10 人
	狛江絵本点訳の会コスモス	平成 25 年 4 月	10 人

### <図書館ボランティアの養成>

平成 22 年 10 月より、図書館活動への参加に意欲のある市民を対象に、図書館ボランティア養成講座を実施して個人のボランティア登録制度を開始しました。27 年度は、主に図書の簡易修理をしてくださる方の増員を図り、13 人の方が新たに活動しています。

活動区分	主な内容	活動実績	活動者数
図書修理	①資料の補修や破損修理など	128 日、1352 冊を修理 (週 3 日、1 回 3 時間程度)	10 人
	②比較的簡易な破損修理など (平成 27 年 11 月から活動開始)	25 日、929 冊を修理 (週 2 日、1 回 3 時間程度)	10 人
館内整理	新聞・雑誌の整理整頓、書架整理	230 日 (開館前 1 時間程度)	15 人
資料整理	地域関連記事のクリッピングなど	35 日 (月 3 日、1 回 2 時間半程度)	8 人

◆ 図書館ボランティア養成講座

[開催日時] 平成 27 年 10 月 27 日(火)・29 日(木)・11 月 5 日(木)・10 日(火)  
午前 10 時～正午、(10 月 29 日のみ午後 1 時 30 分～4 時 30 分)

[開催場所] 狛江市民センター

[参加者] 図書館ボランティアに関心のある人 15 人

[講師] 小畑 信夫さん(図書館・メディア研究所代表)

(※11/5、10 は図書館職員による)

27 年度は、主として図書の簡易修理をお手伝いいただける方の増員を目的として、講座を実施しました。昨年同様、図書館でボランティア活動することの意義やその役割について講義の後、製本の歴史について学びながら、実技研修を行いました。4 回の講座修了後、希望する人にボランティア登録をしてもらいました。



◆ 図書修理ボランティアのためのスキルアップ研修

[開催日時] 平成 28 年 3 月 22 日(火) 午前 9 時 30 分～正午

[開催場所] 中央図書館内 読書調査室

[参加者] 図書修理ボランティア 16 人

[講師] 横溝真由美さん

[講師助手] 上野友子さん、津田敬子さん

27 年 11 月から新たに加わったメンバーを主な対象に、先輩ボランティアによる技術指導を行いました。今回は針金止めの簡易製本の絵本を糸綴じする方法を体験し、さらに糸切れした絵本の綴じ直しの仕方を学びました。新人メンバーのスキルアップはもちろんのこと、ベテランの方々にとっても改めて手順を再確認し、お互いのノウハウを伝え合う良い機会となりました。



◆バリアフリー絵本展示会「さわってみよう！布の絵本と点字絵本」

〔開催日時〕平成28年3月17日(木)～19日(土)

〔開催場所〕中央公民館 地下ホール

〔参加者〕延べ300人

〔協力〕布の絵本製作グループ「はなみずき」  
粕江絵本点訳の会「コスモス」

セカンドブック配布会場内に併設し、中央図書館で所蔵している布の絵本と点字絵本を並べた展示会を行いました。来場者は自由に手作りの布の絵本や点訳絵本を手にしながら楽しんでいました。展示パネルを見て、「点字の五十音は凸面(読む)と凹面(書く)で鏡文字になっていることを知りました」という感想や初めて布の絵本に出合ったお父さんの感動した様子が印象的でした。また、製作グループの協力を得て、点字を打つ体験やフェルトおもちゃの工作なども出来るスペースを設けました。



## 各地域センター図書室の取り組み

### <野川地域センター図書室>

実施日	取り組みと内容	備考
6月23日～7月7日	七夕かざり 短冊に子どもたちの願いごとを書いて笹につけてもらう	
6月24日	七夕おはなし会 【ハープ演奏で絵本のよみきかせとリトミックをたのしもう 七夕かざりもつくれるよ】 (協力:リトルツリーズ テラコヤ3 エルソレイユ) パネルシアター「たなばたさま」 紙芝居「うさぎのみみんちゃんたなばたまつり」 絵本「あのほし なんのほし」	親子 150名
7月17日～8月31日	夏休み課題図書等展示 夏休み課題図書・自由研究・工作等の展示を行う	
8月19日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	3名
10月4日～10月15日	リサイクル事業 野川地域センターまつりにて廃棄本の無料配布(4日) 図書室前にて廃棄本の無料配布(5日～)	900冊
10月29日	仮装で楽しむおはなし会(協力:テラコヤ3 リトルツリーズ) 親子工作 「魔法のつえをつくろう」 大型紙芝居「大きく大きく大きくなあれ」 絵本 「ぐるぐるちゃん」 「おばけやしきにおひっこし」	親子 120名
12月7日	クリスマスおはなし会(協力:リトルツリーズ、テラコヤ3) エプロンシアター「森のクリスマス」 親子工作 「サンタとうさぎの指人形をつくろう」 絵本 「ゆきふふふ」 「ごくらくももんちゃん」	親子 130名



通年	別置・展示 セカンドブック事業 新一年生対象の推薦図書の展示 新着図書紹介コーナー 絵手紙紹介コーナー 「このほんしってる? 2015」紹介コーナー 「赤ちゃんに贈るファーストブック」紹介コーナー 「狛江市ゆかりの作家 宮尾登美子さん追悼」紹介コーナー  その月の行事等に合わせ、関連する絵本を展示 「お花、ちょうちょ」「遠足、山」「かみなり」「おぼけ」 「海、海水浴、川」「スポーツ」「ハロウィン」「きつねたぬき」 「クリスマス」「さる」「うさぎ」「桜・入園・入学」	
----	---	--

<上和泉地域センター図書室>

実施日	取り組みと内容	備考
4月～5月	セカンドブック事業 新一年生対象の推薦図書の展示	
7月15日～8月31日	夏休み課題図書等展示	
8月19日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	2名
10月・3月	リサイクル事業(無料配布) センターまつりにて廃棄本(一般書)(10/11～) 図書室前にて廃棄本(雑誌)(3/1～)	693冊 405冊
12月	クリスマス展示 クリスマスツリーの飾り付け 関連図書の展示	
2月～3月	セカンドブック事業 新一年生対象の推薦図書の展示	
通年	書庫保管本のリストを作者別に掲示 緑野文庫(緑野小学校推薦図書)の展示 「このほんしってる?」展示 新着図書紹介コーナー 毎月テーマを決めて本(児童・一般)を展示	

<岩戸地域センター図書室>

実施日	取り組みと内容	備考
4月～5月	セカンドブック事業 新一年生対象の推薦図書の展示	
7月18日～8月31日	夏休み課題図書等展示 関連図書の展示を行う	
8月19日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	2名
8月20日	夏休み子供教室 「親子で打とう二八蕎麦」 関連図書の展示 講師・・・運営協議会事業部	親子 12名
10月18日～	リサイクル事業 廃棄本の無料配布(利用者発表会に合わせて実施)	約 80冊
12月	クリスマスの展示 クリスマスツリーの飾り付け 関連図書展示	
2月～3月	セカンドブック事業 新一年生対象の推薦図書の展示	
通年	本の展示 新着図書コーナー(一般・児童) 図書館で会える絵本(3～6歳に読んでほしい絵本) 小学生向け推薦図書の展示「読書のみちしるべ」 「このほんしってる? 2015 幼児/1・2年/3・4年/5・6年」	

＜南部地域センター図書室＞

実施日	取り組みと内容	備考
4月～5月	セカンドブック事業 新一年生対象の推薦図書の展示	
6月26日～7月7日	七夕かざり 短冊に子どもたちの願い事を書いて笹につけてもらう	
7月1日	子ども七夕会(協力:人形劇サークルぶんぶん) 大型絵本「はなのあなのはなし」 パネルシアター「森のアイスクリームやさん」	子ども 24名 大人 25名
7月18日～8月31日	夏休み関係図書展示 夏休み課題図書等の展示	
8月19日	子ども一日図書室員 児童に図書室の仕事を体験してもらう	2名
11月1日～9日	リサイクル事業 利用者発表会にて廃棄本の無料配布	663冊
12月9日	子どもクリスマス会 人形劇(協力:人形劇サークルスープ) 「おてらのつねこさん」 午前:乳幼児対象(保護者の参加有り) 午後:幼児～小学生低学年	午前 親子70名 午後 子ども93名 大人33名
4月～3月 (7・8・12月は除く)	親子で楽しむおはなし会 小川美枝子さん(図書職員) 全9回実施	子ども117名 大人144名 平均29名
2月～3月	セカンドブック事業 新一年生対象の推薦図書展示	
通年	本の展示 新着図書コーナー 絵本コーナーにその月の行事等に合わせ、 関係する絵本を展示	

## 施設概要

館・室名	開館年月日	所在地	面積 (㎡)	閲覧席
		電話		
中央図書館	昭和 52 年 11 月 23 日	和泉本町一丁目 1 番 5 号 市民センター内 1F	1,310	一般 40 児童 10
		03-3488-4414		
野川地域 センター図書室	昭和 51 年 6 月 2 日	西野川一丁目 6 番 9 号 野川地域センター内 1F	108.0	6
		03-3480-2211		
上和泉地域 センター図書室	昭和 53 年 8 月 3 日	和泉本町四丁目 7 番 51 号 上和泉地域センター内 2F	131.7	10
		03-3489-9101		
岩戸地域 センター図書室	昭和 53 年 7 月 23 日	岩戸南二丁目 2 番 5 号 岩戸地域センター内 1F	86.6	2
		03-3488-7040		
南部地域 センター図書室	昭和 58 年 4 月 3 日	猪方四丁目 11 番 1 号 南部地域センター内 1F	119.0	8
		03-3489-2150		
西河原公民館 図書室	平成 18 年 8 月 11 日	元和泉二丁目 35 番 1 号 西河原公民館内 1F	174.8	一般 45 AV 9
		03-3480-3201		

登録番号 H28-11

平成 27 年度図書館・図書室事業報告書

平成 28 年5月発行

発行・編集 狛江市教育委員会教育部図書館  
〒201-8585 狛江市和泉本町1丁目1番5号  
電話 03(3488)4414  
<https://www.library.komae.tokyo.jp/>

印刷 庁内印刷

頒布価格 無償